

岩手県沿岸北部を震源とする地震に関する 緊急災害対策派遣隊 TEC-FORCE「先遣班」の調査結果について

平成20年7月25日
河川局防災課災害対策室

平成20年7月24日に発生した岩手県沿岸北部を震源とする地震の発生を受けて、地震発生当日の7月24日に、緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）の先遣班として、災害対策用ヘリコプターによる調査を行うとともに、国土交通省緊急調査団を派遣し、被害状況の調査を行いました。

調査の結果、部分的な被害が確認されておりますが、現在のところ、河道閉塞や大規模な公共施設被害など、大規模な被害は確認されておられません。

天候不良のために十分な確認ができていない区域を含め、国土交通省は、引き続き被害状況調査や関係機関からの情報収集を行い、今後の災害復旧や防災対策のために活用してゆく予定です。

<派遣概要>

1) 先遣班（ヘリ調査）

- ・東北地方整備局災害対策用ヘリコプター 1機（5名）
- ・北陸地方整備局災害対策用ヘリコプター 1機（7名）



岩手県宮古市茂市上空



東北地方整備局災害対策用ヘリコプターからの映像

2) 国土交通省緊急調査団（計11名） 派遣メンバー

(団長)河川局	防災課	総括災害査定官	大谷 博信
〃	治水課	企画専門官	若林 伸幸
〃 砂防部	砂防計画課	企画専門官	國友 優
〃 砂防部	海岸室	海洋開発官	泊 宏
道路局	国道・防災課	道路防災対策室長	渡邊 和重
住宅局	建築指導課	企画専門官	深井 敦夫
鉄道局	施設課	鉄道防災対策室長	高山 治彦
港湾局	海岸・防災課	災害対策室長	川嶋 直樹
〃	海岸・防災課	災害査定官	長谷川 章治
〃	海岸・防災課	監督係長	浜園 幹雄
(独) 港湾空港技術研究所		地震防災研究領域長	菅野 高弘

※中部地方整備局災害対策用ヘリコプター（1機）を、緊急調査団の輸送に使用。

（緊急調査団の調査結果は別紙参照）

問い合わせ先

河川局防災課災害対策室 課長補佐 藤田 司（内線）35-762（直通）03(5253)8461

代表 03(5253)8111

国土交通省緊急災害派遣隊先遣班（国土交通省緊急調査団）の調査結果について

河川・砂防・海岸・道路関係

【調査期間】

平成20年7月24日

【調査結果概要】

- ・河川、砂防、海岸、道路関係の緊急調査団による調査では、悪天候のため、東北地方整備局での情報収集を行った。現時点では、部分的な被害はあるものの、重大な被害は確認していない。今後、天候の回復を待って、山地部等の調査を行う必要がある。

住宅関係

【調査期間】

平成20年7月24日

【調査箇所】

岩手県洋野町及び久慈市

【調査結果概要】

- 洋野町：一部の木造家屋にガラスの破損、モルタルのひび割れ等の損傷が見られた。公共施設については、種市体育館で窓ガラス11枚破損及び柱の表面のコンクリートが一部剥落、種市温水プールで天井仕上げパネルの一部に脱落、等の損傷が見られた。
- 久慈市：一部の木造家屋にガラスの破損、屋根瓦の損傷が見られた。

鉄道関係

【調査期間】

平成20年7月24日

【調査箇所】

JR東日本 山田線（^{ひきめ} 驫目駅～^{けばらいち} 花原市駅間）

【調査結果概要】

- ・山田線^{ひきめ} 驫目駅～^{けばらいち} 花原市駅間において発生した落石現場の復旧状況を確認した。
- ・落石により折損した枕木を交換。落石については運行に支障がないよう削り、後日撤去予定。



復旧前（赤線内枕木折損）



復旧後

港湾関係

【調査期間】

平成20年7月24日～25日

【調査箇所】

八戸港、久慈港、小本港、宮古港、釜石港(調査中)、大船渡港

【調査結果概要】

- ・八戸港 : 港湾施設及び海岸保全施設に異常の無いことを確認した。
- ・久慈港 : 玉の脇地区物揚場(水深3m:L型ブロック構造)のエプロンが5cm程度、隆起。
諏訪下地区岸壁(水深5.5m:直立消波構造)のエプロンが5～7cm沈下。
- ・小本港 : 岸壁(水深5.5m:直立消波構造)のエプロンが3～5cm沈下。
- ・宮古港 : 港湾施設及び海岸保全施設に異常の無いことを確認した。
- ・大船渡港 : 港湾施設及び海岸保全施設に異常の無いことを確認した。



久慈港 物揚場被災状況



小本港 岸壁被災状況